

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中尾 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第14週（令和7年3月31日～令和7年4月6日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- 第14週は、百日咳の報告が40件ありました。本疾患は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれる細菌を吸い込むことや、細菌に汚染されたものを触った手で、目、口、鼻等の粘膜に触れることによって感染します。潜伏期間は5～10日程度で、風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます。典型的な症状は、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作で、しばしば嘔吐を伴います。1歳以下の乳児、特に生後6ヶ月以下では重症化しやすく、亡くなる場合があります。手洗いや適切なマスクの着用、咳エチケット等の基本的な感染対策をしましょう。予防にはDPT-IPV-Hib五種混合ワクチンが有効です。生後2か月からの定期接種について、詳しくは、お住まいの市町村の予防接種窓口までお問合せください。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	7	175	250	3,134
アメーバ赤痢	1	7	7	112
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	30	29	459
急性脳炎	1	12	10	183
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	25	11	429
後天性免疫不全症候群	1	9	13	181
侵襲性肺炎球菌感染症	3	46	77	1,239
梅毒	19	220	161	3,146
百日咳	40	304	578	4,771

## ■ 定点把握疾患報告数

    ：警報レベル

    ：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	248	1.26	0.67	14,354	2.92
インフルエンザ	211	1.07	0.72	9,093	1.85
RSウイルス感染症	186	1.56	0.81	3,177	1.02
咽頭結膜熱	60	0.50	1.28	721	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	280	2.35	0.80	5,885	1.89
感染性胃腸炎	1,005	8.45	0.86	24,790	7.95
水痘	23	0.19	0.74	926	0.30
手足口病	4	0.03	1.33	148	0.05
伝染性紅斑	45	0.38	0.56	2,565	0.82
突発性発しん	38	0.32	1.52	656	0.21
ヘルパンギーナ	1	0.01	-	26	0.01
流行性耳下腺炎	4	0.03	2.00	115	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	40	0.06
流行性角結膜炎	5	0.19	1.00	558	0.80
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	14	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	12	0.03
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	0.33	136	0.28
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	0.13	0.50	111	0.23

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。